

お



議会だより

おお
くわ

第165号

令和3年
7月21日発行

6月定例会

まんぷく商品券追加補正 … 2

行政報告 …………… 3

村政を問う

4名が一般質問 …………… 4

がんばる村内企業⁸

光和商事(株) 木曾営業所 … 10



越百川の滝

撮影者：小幡 敦さん（奥田工業株）

6月定例会は、6月17日から30日までの14日間の会期で開かれ、委員会報告、組合議会報告、議長報告、行政報告、監査報告の後、陳情1件を採択、一般質問（4名4件）が行われた。村長提出議案は報告3件、承認3件、請負契約2件、補正予算4件が上程され慎重審議し可決した。

こんなことが決まりました まんぷく商品券（プレミア率40%）の 追加補正予算可決

報告

● 損害賠償の額の決定について

● 大桑村税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律等の改正に伴う改正

● 令和2年度大桑村一般会計予算繰越明許繰越計算書について
繰越明許費の額の決定

承認

● 令和2年度大桑村一般会計補正予算

地方交付税、国庫補助金の額の確定。寄付金の追加。地方創生臨時交付金及び新型コロナウイルス感染症に関する事業等の額の確定による専決処分

599万8千円の減額

● 令和3年度大桑村一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業についての専決処分

226万円の増額
総額49億6726万円

● 令和3年度大桑村一般会計補正予算

5月21日豪雨による農林施設及び公共土木施設に係る災害復旧事業についての専決処分
3000万円の増額
総額49億9726万円

工事請負契約

● 令和2年度村道大桑中学校東線改良工事（繰越）

契約の方法
指名競争

契約金額
5318万5千円

契約の相手方
（株）坂土木

● 令和3年度防災行政無線・全国瞬時警戒システム新設・移設工事

契約の方法
随意契約

契約金額
1億1990万円

契約の相手方
松本市
（株）日立国際電気長野営業所

補正予算審議

◆ 令和3年度大桑村一般会計補正予算

新型コロナウイルスワクチン接種及びプレミアム商品券に係る経費の計上と右岸道路建設事業に係る建物移転料の追加計上が主なもの。

4億6830万円の増額
総額54億6556万円

● 12歳～18歳のワクチン接種について受験等があるため早期に接種することはできないか。

● これまで医師等と慎重に相談しながら接種を行ってきた。12歳～18歳についても慎重に行っていく。

● 県外に住む学生に接種券を送付するなどの対応はできないか。

● 居住している地で接種したい場合は接種券を送付している。

● 教育費 新型コロナウイルス感染症検査費用助成金について説明を。

● 成人式の成人者、来賓138人分のPCR検査に

関する助成金。

● 小中学校のトイレ等へ生理用品を配置できないか。

● 学校に現状を確認し相談したい。

● 木曾ふれあいの郷温泉館の撤去の期間は。

● 工事は9月～3月に実施。

● 「おおくわまんぷく商品券」についての説明を。

● 購入引換券を各世帯へ送付。購入引換券で一人3万円まで購入できる。商品券の有効期間は12月31日まで。

購入資格

6月1日現在で大桑村に住所を有する者。住民税を納めている者。妊婦は1人分追加。

1万円～1万4千円分の商品券（プレミアム分4千円）

10月29日までの間、村内各郵便局において引換券で購入ができる。11月10日～12月10日までは村民パスポートで一人1万円（1万4千円分）の追加購入ができる。

行政報告(抜粋)

庁舎建設進捗状況

昨年9月に着手した庁舎建設工事は、建物の主構造となる1階の鉄筋コンクリート部分

が完成し、5月末時点で進捗率30%となっています。現在2階部分と外構工事が進んでおり、7月からは内装工事に着手します。

周辺道路の整備は、村道大島線の改良工事は令和2年度に完了。村道中学校東線、大島中央線の改良工事を進めています。国道19号伊奈川交差点は、右折のための改良工事が年度内に完成予定です。

今後、防災倉庫などの発注をし、来年3月の竣工を目指しています。

村内郵便局との

包括連携に関する協定

5月27日、村と村内郵便局との包括連携に

関する協定の締結式が行われました。

これまで村は郵便局と「大桑村における協力に関する協定」を平成29年2月に結び、地域の見守り、道路の損傷や不法投棄の情報提供などを主に活動してきました。

今回の協定は①安全・安心な暮らしの実現に関すること、②地域経済活性化に関すること、③未来を担う子どもへの育成に関すること、④地方創生に関すること、について行うものです。

5月21日豪雨災害状況

5月20日から21日未明にかけて梅雨前線が停滞し、21日午前0時から2時の2時間に69ミリの雨量を記録しました。この豪雨で村内では村道、林道、河川

や水路等で土砂流出や法面崩壊、路面洗掘などの災害が発生しました。6月1日付で専決補正をして早期に復旧をおこないます。

新型コロナウイルス 接種

5月15日から65歳以上の高齢者を対象にワクチン接種が始まりました。6月2日(水)に1回目の接種が終了しました。対象は1571人で、6月2日現在で1回目接種を1515人が受けました。6月5日からは2回目の接種が始まっています。

6月8日からは64歳未満の住民へ希望調査を実施しています。接種は7月24日から8月28日までで、村民体育館での接種を予定しています。就業者が多いことから日時の指定が

ある場合はオンライン予約。希望しない場合は村で指定します。県外で生活している学生については、帰省後2週間自宅で過ごしたうえで接種となります。ワクチン接種に関して迅速な対応をしていただいた古根医院の皆さん、木曽病院などの医療機関の皆さんに感謝申し上げます。

令和2年度

国勢調査結果

令和2年度に行われた国勢調査の結果の速報が出ましたので報告します。

大桑村の人口は、3439人で前回と比べ386人。率にして10・1%減少。世帯数も1477世帯で45世帯、3・0%減少しました。

村道本町庭の畑線

庭の畑橋

野尻本町の庭の畑橋は昭和35年に架設され61年が経過しています。村では橋梁の長寿命化計画に基づき橋梁点検を実施し、今年度補修設計を行い令和5年度修繕工事を予定していました。

しかし、今年の県とのヒアリングで、JRの跨線橋であるこの橋は、地震等で落橋した際には被害が甚大となることから、耐震性能についての確認が必要と指摘を受けました。

平成30年に橋梁点検を実施した業者からは、この橋はレール橋であり、耐震補強は困難という見解が示されました。



庭の畑橋

陳情

●「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

陳情者

長野県労働組合連合会

議長 細尾 俊彦

結果

全会一致 採択

総務社会常任委員会

◎5月10日開催

住民アンケート結果による総務社会常任委員会関係の意見について取りまとめた。

(報告者 坂家 重吉)

経済建設常任委員会

◎4月23日開催

新型コロナウイルス感染症対策指定管理者業務継続支援金について説明を受けた。

所感

(株)塚原緑地へ1000万円の支援金の支払いを了承した。

◎5月10日開催

住民アンケート結果による経済建設常任委員会関係の意見について取りまとめた。

(報告者 木戸 勘一)

議会改革特別委員会

◎4月30日開催

住民アンケート調査

所感

結果のまとめ作業の方法及び、今後の議会活動のあり方について協議した。

各常任委員会でもまとめ作業をおこない、行政にも資料として届け、認識を共有していきたい。

◎5月14日開催

住民アンケート調査で寄せられた、議会、議員への意見・要望の集約をおこなった。

所感

多くの村民の方から寄せられた、貴重な意見・要望をどの様な形で活動に反映できるか、検討を重ねたい。

◎6月9日開催

①住民アンケート調査結果の最終まとめ、及び確認作業をおこなった。

②小規模な会議や団体等の集まりに、議会へ派遣要請をいいただき、住民と議員が対

所感

話す取組みに関する、提案があった。

①アンケート調査結果をまとめたものを、早急に行政側へ届けることとした。

②新型コロナウイルスの感染状況をしながら、検討していくこととした。(報告者 鈴木 武)

一般質問

議員4名が村政を問う

6月定例会の一般質問は17日に4名4件を行いました。次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分ですが、コロナウイルス対策として議場の換気等を行うため1人30分としました。

・一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。



清水 芳昭 議員

カーボンニュートラル2050の 村内に及ぼす影響について どう認識しているか

早晚の影響は薄いと思われる

Q カーボンニュートラル2050の村内に及ぼす影響について村側の認識を伺う。議会アンケートの中でも村民がとても心配している。

A 先の参議院本会議で、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする目標を明記した改正地球温暖化対策推進法が成立した。菅総理の所信表明



道の駅 急速充電設備

演説を具現化したもので、これを受け自動車工業会会長は全面的に協力すると明言。大雑把に小型車は電気自動車（EV）大型車は燃料電池車（FVC）になる。車の寿命を15年とすると、2035年までに電動車に置き換わる。世界の状況も同じ状況で、北欧の多くは2030年、他の多くの国は2040年ま

Q 不測の事態に備え、人件費を含め、固定費の圧縮、自主財源の確保等々考慮していったほうが良いと思われるが。



SDGs 17の持続可能な開発目標

でにガソリン車等の販売が禁止される。2016年から2030年までの国連目標SDGs（持続可能な開発目標）では気候変動に具体的政策が求められている。また、2030年までに水素ステーションを150基から1000基に、急速充電器を4倍の30000基にする新たな成長戦略実行計画の素案が発表された。このように世界規模でベクトルは温室効果ガス削減、自動車にあっては電動化に向かっている。村を支えているといっても過言ではない村内企業の今後が心配される。

Q 予見できることに對して、村としてやるべきことはないのか。

A 企業と連絡を密にして、先行開発に期待しつつ、要請があれば可能な限り協力していく。

所感 世界の趨勢が電動車一色になっており、村内企業の行く末を心配している村民がたくさんいる。タイムリミットまで14年、確実に2035年はやってくる。この質問の中で、執行部側の危機感の薄さが気になった。

空き家環境贈与税※(仮称)設立は 議員と連携を深め努力したい



木戸 勘一 議員



解体された空き家跡地 (野尻)

Q 大桑村で空き家問題については令和2年4月空き家等対策計画が作成され、平成30年実態調査で236件の空き家の報告がある。現在の件数と空き家バンク登録の実情は。

A 現在の件数はそれから増えている。空き家バンク登録は平成23年より始まり、総登録数は59件である。

Q 特定空き家が大きな問題で近隣住民が倒壊、衛生面、環境に悩む事が有るが、現在の状況は。

A 現在特定空き家は0件である。村では空き家対策推進に関する特別措置法の定義に準

じ、空き家対策協議会の意見を聴取し対応する。

Q 村内空き家で地域おこし協力隊が活動され、空き家利用の効果が出ている。相談会も進めているが、現在の状況と在住でない所有者への相談会は。

A 現在、木造推進協議会に参加していただき、修繕アドバイスや簡易建物診断を行っている。実施は昨年11月より開催し5月までに村内外11件の相談がある。

Q 地域おこし協力隊のブログ発信が力となるが、空き家バンク登録推進を行う上で所有者への情報発信は。

A 空き家バンクへの登録の掘り起しを進めている。村内、村外者に相談を進め、ブログ

回覧 空き家でお困りのことはありませんか？

大桑村 空き家 お悩み相談会

空き家バンクに登録して売却したいけど…

荷物がいっぱい整理したいのだけど時間がない…

空家のご相談なんでもお任せください！

売らないで賃貸貸したいのだけど…

売却 賃貸 管理 改築

大桑村木造住宅推進協議会の会員の協力を得て専門家が同席します！
空き家の利活用を皆様と一緒に考えます

無料相談

7/28 大桑村 空き家の相談会日程
(水)10:00~15:00 須原地区館

- 事前予約制のため、ご希望の方は下記担当者までご連絡下さい。
- ご相談1件につき1時間程度となります。
- 先着5名 申込み締め切り：7/26(月)

連絡先：大桑村役場 地域おこし協力隊 狹館(エングテ)
TEL 080-6932-3915

空き家お悩み相談会チラシ

Q 村のホームページの空き家バンク表記を見やすくできないか。

A ホームページの表記対応は改良を検討したい。

Q おためし居住体験が中止となっているが、古民家を利用して移住促進を図れないか。

A 平成27年より行っているが現在休止中である。将来的には再開を考える。古民家利用

の関覧が多くなっている。相談のある方を優先に対応する。

Q 特定空き家の解体で行政代執行を行う場合は、財政負担が大きな問題。国に対し空き家環境贈与税(仮称)の設立を要請できないか。

A 全国的な問題であるが、議員提案として発議の輪が広がっていかば、連携して進める努力をしたい。

※空き家環境贈与税…
木戸議員の造語



鈴木 武 議員

街並み形成の将来ビジョンをどの様に考えているか

住民が描くビジョンを応援したい

Q 今春、

旧中山道沿いの新田地区に、4戸建ての村営住宅が完成した。コンパクトな街並み形成は、インフラ環境や整備への負担を軽減する効果がある。村



売却された野尻1307-8

が、街並み形成における将来ビジョンを示し、増加傾向にある空き家、空き地の活用を所有者や住民と共に作り上げる体制を整える必要があるのではないか。

A 街並み形成に関しては、特に定めていない。街並みの在り方については、地域の取組みに協力する形で臨んでいる。

Q 地目が宅地である野尻1307-8を宅

地としてではなく、村有地として土地単価を低く抑えたような金額で、公募型入札とした経緯は。

A 公共施設等検討委員会、売却が望ましいとの判断があり、販売することとした。価格については、周辺の土地単価を見た中で設定した。

Q 近年、相次いで2か所の村有地を売却した。民有林であるが、

売却後の活用方法で住民等とトラブルを招いている場所がある。売却後の元村有地の活用方法を巡って、トラブルを未然に防ぐためにも、今回2項目の入札条件に「住宅及び住宅に準じた建物・転売禁止期間」等を追加し、入札条件の大幅な見直しを図る必要があるのではないかと。

A 今回の意見を、参考にさせていただく。

Q 旧中山道沿い野尻地区の十七屋跡地、旧JA須原の跡地、現庁舎の跡地の活用をどの様に考えているか。この様な町中の村有地の取扱いに当たっては、事前に住民との対話の機会を多く持つことが必要ではないか。

A 旧JA須原の跡地の用途として須原中央線の拡充を考えていたが、周辺の問題もあり現在の状態で維持して

いる。十七屋の家屋は、地域住民の要望で解体した。今後については、白紙である。現庁舎の跡地については、委員会を立ち上げ、その中で考えたい。

Q 店舗が減少している地域が増え、高齢者にとっては、食料品や日用品の購入に支障が出ている。また、店舗の減少は、外出する機会をなくし、地域の衰退要因ともなっている。空き家等を活用して、地域を活性化したいと考えている起業家等を支援する支援する「元気づくり支援金」的支援制度を整える必

要があるのではないかと。営利を目的とする店舗であっても、一定の条件をクリアすれば可能な制度)

A PR不足であるが、村では地域団体向けの「大桑村地域づくり活動活性化支援補助金」がある。営利活動は対象外であるが、対象になる場合もあるのだと、相談をいただきたい。



野尻町並み (七曲り)

高齢者医療費2倍化の影響は 早期受診控えにつながる



瓜尾美佐子 議員

感染症対策

Q 昨年からのコロナ禍による住民生活や地域経済を支援するために、国の交付金も活用しながら様々な施策を講じてきた。住民のくらし、村内経済の現状をどのように検証しているか。

A 製造業、自動車関係、建設業についてはコロナ以前に回復している。木工、小売業は企業により異なる。飲食サービス業は第4波の影響を受け依然として

厳しい状況だ。中小振興資金の借り入れ状況は、前年度50件に対し今年度は現在までで1件であり、資金面からみると回復傾向にある。

Q 今後、どんな支援策を検討しているか。

A 中小・個人向けの保証料補給継続と村民と村内企業支援のためプレミアム商品券発行事業を行う。これにより村内では6か月で1億5千万円のお金が流通。プレミアム4割の半分2200万円は飲食業へ流通できる。



まんぷく商品券購入引換券

木曽病院について

Q コロナ禍において国が進める病床削減ではなく、医師数の確保看護体制など木曽病院の機能充実が求められる。この間の取り組みと現状は。

A 木曽の医師数は平成29年には全国平均の半分であった。令和元年から医師確保など木曽の医療の充実に向け、町村会の取り組み強化や信大や県との連携を強化する中、木曽病院の医師数は21人から26人となっている。

高齢者医療費2倍化

Q 医療制度改革法の成立により、来年10月から75歳以上の医療費窓口負担が2割となる。村の負担増になる対象者はどれくらいか。

A 75歳以上の高齢者899人のうち、単身世帯で年収200万円

以上の54人、夫婦世帯320万円以上の130人、合わせて184人が対象となる。

Q 今回の負担増は高齢者にどんな影響を及ぼすと考えられるか。

A 影響としては受診回数の減少が考えられる。早めの治療が医療費の軽減につながるが早期受診のためらいが生じるのではないかと。

意見 厚労省の示した受診控えに関する調査・研究でも、医療費2倍化が高齢者の受診にブレーキをかけ、健康悪化につながると指摘されている。

現役世代の負担を軽



病院窓口

くすると言うが、今回の法律で現役世代の負担軽減は、一人あたり年間350円、月平均たったの33円である。高齢者も現役世代のどちらにも負担軽減するために、歴代政権が減らしてきた国庫負担を元に戻すべき。高齢者の命と健康を守るため国に対して公費負担増を求めるべきである。

議会活動日誌

3 月	
2日	3月定例会
4日	3月定例会 議会運営委員会
8日	阿寺溪谷管理運営協議会
11日	3月定例会 議会報編集特別委員会
12日	3月定例会 議会改革特別委員会
19日	大桑村社協理事会
24日	木曾郡町村議長会臨時会
29日	大桑村社協評議員会
4 月	
7日	議会報編集特別委員会
8日	村営住宅新田西団地内覧会
14日	大桑・須原発電所百周年 記念行事 議会報編集特別委員会
18日	大桑村消防団演習
23日	経済建設常任委員会
30日	全員協議会 議会改革特別委員会
5 月	
10日	総務社会常任委員会 経済建設常任委員会
14日	ふるさと寄付金（納税） 研修会 全員協議会 議会改革特別委員会
17日	木曾広域 議会運営委員会 木曾広域 総務常任委員会
18日	木曾広域 経済観光常任委員会 木曾広域 福祉環境常任委員会
19日	木曾郡議長会
31日	木曾広域 第2回定例議会
6 月	
1日	県町村議会議長会臨時総会
3日	木曾地域交通網対策協議会 総会 議会運営委員会
9日	全員協議会 議会改革特別委員会
11日	大桑村社協理事会
17日	6月定例会
18日	6月定例会

木曾広域連合議会報告（5月31日開催・木曾文化公園）

第2回定例議会に上程された議案は、承認1件、報告1件、議案11件（条例全部改正・補正予算等）である。審議の結果、全て原案通り可決承認した。

以下、要点報告。

●報告1件

・1月20日に発生したクリンセンター解体中の事故により、工事が中断したため、翌年度に繰越しとなったもの。繰越明許費736万2千円。

●工事請負契約の締結

・令和3年度木曾地域高度情報化網光化促進事業（最終年度）契約金額7億9090万円。

●条例の一部改正2件

・木曾広域連合火災予防条例の一部改正。郡内4カ所にある自動車急速充電設備の全出力の上限を200kwまで拡大したことに伴う基準の改定及び追加によるもの。
・木曾広域連合介護保険条例の一部改正。新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合等における第1号被保険

者の減免期間を令和4年3月31日まで延長するもの。

●条例の全部改正4件

・木曾広域連合指定地域密着型サービス、介護予防サービス、介護予防支援等の事業、居宅介護支援事業に関する4条例の全部改正。これは、事務等の効率化を図るため、条例と規則を統合し、基準の整理をするもの。

●条例の廃止1件

・木曾広域連合指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例を、「人員及び運営に関する基準」と併せ規定したことにより、廃止するもの。

●令和3年度一般会計補正予算

補正額3521万9千円を増額し、総額42億7069万9千円とするもの。主たる要因は、木曾文化公園ホール天井工事に係る実施設計委託料3630万円及び冷暖房温水装置の概略設計費300万円の増額。職員2名減等に伴う人件費補正1266万2千円の減額等である。

●令和3年度介護保険特別会計補正予算

補正額1941万3千円を増額し、総額40億1808万9千円とするもの。主たる要因は、第8期計画に基づく調整として、介護サービス等の諸費2693万7千円の増額。人事異動に伴う人件費補正1070万6千円の減額である。

●令和3年度下水道事業会計補正予算

補正額0円、総額1億2247万円、総額変更なし。社会資本整備総合交付金額162万3千円が確定したことにより、同額の衛生費分担金額を減額とした予算の組替である。

●定例会閉会後の全員協議会に於いて、令和5年度12月の完成を予定している「木曾寮」の基本設計を「木曾寮」の基本設計を「木曾寮」の金額で（株）アキプランに決定した旨の報告を受けた。

以前触れた、木曾文化公園に関して、「あり方検討会」からの意向を受け、ホール等のリニューアルを進め維持することが決まり、今年度よりそのための事業が開始される。

（報告者 鈴木 武）

がんばる村内企業 ⑧

光和商事(株) 木曾営業所

～地域の皆様の生活を
支える企業を目指して～



光和商事って何やってるの?どこにあるの?と思われる方がたくさんいらっしゃると思います。

当営業所は、昭和58年に開設、今年で38年になり、営業所の場所は大桑村スポーツ公園の近くにあります。

現在は(株)H Iターボ様への部品販売を主としており、所員6名で日々営業活動をしています。

取扱い品目は自動車関連部品だけではなく、今注目のコロナ対策製品、事務用品から発電機など多岐にわたり、何でも揃うを自負しております。

長年地域の皆様にはお世話になってまいりましたので、地域の皆様へ貢献することも弊社の使命と考え、地域貢献活動を進めてまいりたいと思います。

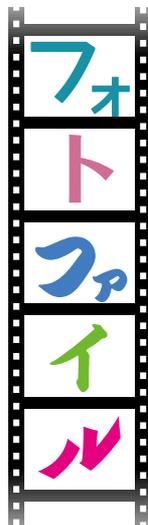
既存のコンビニとは違った便利に使える会社として、地域の皆様の豊かな生活を支える一助となれるような企業を目指しています。何かお困りのことがあればお気軽に声をかけてください。よろしくお願い致します。

(木曾営業所長 加藤 肇さん)

▼越百川の滝
約10年間にわたり建設された越百川第3砂防堰堤の上流には、落差約8mの滝があります。滝壺の周囲を見渡すと長い年月をかけて削り取られた岩壁が円を描くように切り立っており、自然が作り出す美しさに感

表紙撮影

小幡 敦さん (奥田工業(株))



動するともに、その力に脅威も感じます。近年の異常気象により大規模な自然災害を身近に感じる中、砂防事業を通じて、大桑村の美しい自然と豊かで温かい心を持っていけるといいなと思っています。

村への思い 17

SNSで情報発信



須原 さくまゆみこさん

昨年4月に大桑村にやってきました。メキシコシティから急遽大桑村に移住した娘(娘の夫が、地域おこし協力隊の奥野宏です)の出産前後を手伝い、また東京に帰るつもりでしたが、この村が気に入って今年3月からは村民になりました。仕事は子どもの本の翻訳と編集で、子どもの本の団体の会長もまだ務めています。しかしコロナ禍ですべてオンラインになり、打ち合わせも会議も講演もイベントもネットのできるので格段の不便は感じていません。朝夕2回の犬の散歩で出会った花や虫や鳥をインスタグラムで紹介したり、フェイスブックでも「木曾だより」を発信しているので「コロナが終息したらぜひ大桑村を訪ねたい」という友人がたくさんいます。須原の厳しい冬も親切な地域のみなさんに支えられて乗り越えることができ、毎日を新鮮な気持ちで過ごしています。

編集後記

▼連日の雨音から、やがて梅雨明けを迎え、朝夕のヒグラシなどの音色に心癒される時も間近。季節の移り変わりが楽しみです。

委員長 細田光一

議会報編集特別委員会
委員長 細田 光一
副委員長 沼田 友行
委員 清水 芳昭
委員 坂家 重吉
委員 勝野 清子